4 便利な運転

快眠 室内温度をコントロールして快い眠りとさわやかな目覚めをサポートします。

冷房、暖房運転中に（快眠）を押し、睡眠時間の設定をする。

- 押すごとに1時間きざみで設定できます。（1～12時間）
- タイマー運転との併用はできません。

操作取消：（取消）を押す。
もとの運転モードに戻ります。

ストリーマ空気清浄 ストリーマ放電の分解力でカビやアレル物質を抑え、お部屋の空気をキレイにします。

◆単独で運転するとき

停止中に（空気清浄）を押す。

- 押すごとに切り換わります。 空気清浄 ←→ 送風

◆エアコン運転と併用するとき

運転中に（空気清浄）を押す。

- リモコンに が表示されます。
- 送風運転中に設定すると、ストリーマ空気清浄運転に切り換わります。

ストリーマ解除：（空気清浄）をもう一度押す。
リモコンの が消灯し、ストリーマ放電を解除します。
停止したいとき：（運転/停止）を押す。

内部クリーン エアコン内部のカビやニオイを抑えます。

お部屋に人がいないときにご使用ください。
室内温度や湿度がお好みに合わないときがあります。

（自動内部クリーン） 初期設定：「切」

「入」に設定すると、ドライ、冷房運転停止後、毎回自動でエアコン内部を乾燥させる運転を行います。

運転中に（内部クリーン）（2秒押し）を約2秒間押す。

内部クリーンランプ点灯

…内部クリーンが表示されます。

設定取消：運転中にもう一度（内部クリーン）（2秒押し）を約2秒間押す。
内部クリーンランプが消灯します。

手動でエアコン内部を乾燥させる運転を行うこともできます。

停止中に（内部クリーン）（2秒押し）を約2秒間押す。

内部クリーンランプ点灯

…内部クリーンが2回点滅した後、通常表示に戻ります。

停止したいとき：（運転/停止）を2回押す。

5 タイマーを使う

タイマーは1回だけの設定です。その都度設定してください。

入タイマー／切タイマー お好みの時間に運転開始／停止ができます。

（入）または（切）を押す。

タイマーランプ点灯

- 押すごとに1時間きざみで設定できます。（1～12時間）
- 入タイマーと切タイマーを組み合わせて予約することもできます。

操作取消：（取消）を押す。
タイマーランプが消灯し、入タイマー／切タイマー両方の予約が取り消されます。

各運転についてもっと知りたいとき

各運転について

1 運転について

ひかえめ自動運転について

- ひかえめ自動運転を行うと、室内・屋外温度に応じて、自動で最適な温度と運転モード(ドライ、冷房、暖房のいずれか)を選び、冷やし過ぎ、暖め過ぎを防止します。

ドライ運転について

- ドライ運転は、弱めの冷房運転と停止を適切に制御して湿気を取ります。
- リモコン設定と除湿効果、室内温度は右のような関係があります。お好みに合わせて調節してください。
- 室内温度より屋外温度が低い場合、除湿効果が低くなります。

リモコン設定	−2・標準・+2
除湿効果	高　い ←→ 低　い
室内温度	下 が る ←→ ほぼ同じ

2 温度・風量・風向調節について

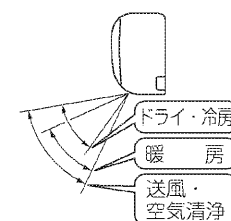
温度・風量調節について

運転モード／変更したい設定	ひかえめ自動	ド ラ イ	冷　房	暖　房	送風・空気清浄
∧ 温度 ∨	「標準 +5℃」〜 標準 〜「標準 −5℃」 標準…室内・屋外温度から決定した温度	「標準 +2」〜 標準 〜「標準 −2」 標準…ドライ運転開始時の室内温度	18℃〜32℃ 【おすすめ温度】26℃〜28℃	14℃〜30℃ 【おすすめ温度】20℃〜22℃	温度は変えられません。
風量	自動・しずか	自動	風量 自動・しずか・1〜5		

- 風量設定「自動」のとき、ドライ、冷房(ひかえめ自動で選択された場合を含む)運転を開始すると、室内ユニットにこもったニオイが出るのを抑える機能が働くため、すぐに風が出ません。約30秒お待ちください。(ニオイないス)

風向調節について

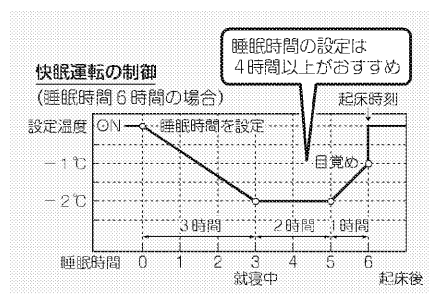
- 上下の風向を固定する場合、冷房・暖房効果を高めるためにドライ、冷房運転時はフラップを水平に近い状態に、暖房運転時は下向きにしてご使用ください。
- フラップが自動で上下に動いているとき運転音が変化する場合があります。
- 室内温度が設定温度に到達し、室外ユニットが停止している間は、フラップは停止します。
- ドライ、冷房運転時にフラップを下向きで停止したまま運転されますと、露が付くのを防ぐために、約1時間後に自動的にフラップの角度が変わります。
- 上下の風向調節は必ずリモコンで行ってください。無理に手で操作すると、正しく動かなくなることがあります。
- フラップの可動範囲は運転モードに応じて異なります。

<フラップの可動範囲>

3 パワーセレクトについて

- 運転時の電流を制限して(※)、電力消費を抑える機能です。
  ※ドライ、冷房運転時は運転電流の約85%以内
  暖房運転時は、最大電流の約85%以内
  (各機種の運転電流値 ▶21ページ)
- 電流を制限するため設定した風量よりも弱くなる場合があります。
- 能力に制限をかけるため、冷えない、暖まらない場合があります。
- 能力を必要としない運転時には、電力消費が変わらない場合があります。
- パワーセレクト「入」のときにリモコンの信号を受信すると、運転ランプとタイマーランプが点滅します。

4 便利な運転について

快眠運転について

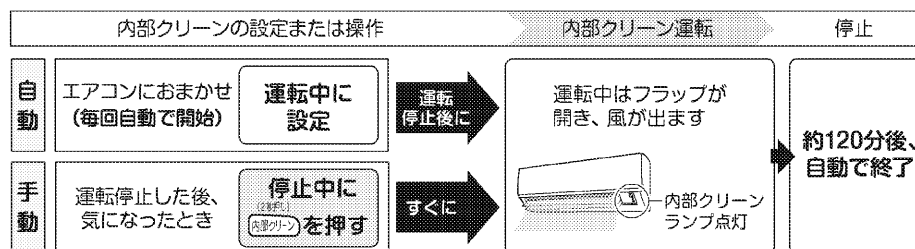
- 一度快眠運転を行うと、設定された時間は次回も記憶されています。
- 直接体に風があたりにくいように風向を設定してください。
- 快眠運転は、約3時間かけて設定温度を2℃下げていき、起床時刻の約1時間前から設定温度を1℃上げていきます。(V字型温度制御)
  終了後はもとの運転モードに戻ります。

お願い

- 次のような場合には、再設定をしてください。(設定した時間がリセットされます。)
  - 電源プラグをコンセントから抜いたとき
  - ブレーカーを切ったとき
  - ブレーカーが作動したとき
  - 停電したとき
  - リモコンの電池を交換したとき

ストリーマ空気清浄運転について

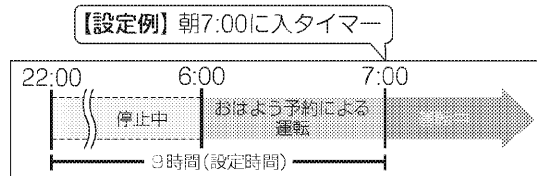
- 運転中に風量が弱くなったとき、吹出口からごく微量のオゾンのニオイがするのを防ぐため、ストリーマ放電を停止する場合があります。

内部クリーンについて

- **内部クリーン運転の流れ**

- 送風運転と暖房運転でエアコン内部を乾燥させます。
- ストリーマ放電を行いながらエアコン内部を乾燥させて、エアコン内部のカビやニオイの発生を抑えます。**付着したホコリやカビを取り除く機能ではありません。**
- 屋外温度が24℃以上または室内温度が高くなったときは、暖房運転を行いません。
- エアコン内部の乾燥効果を高めるため、フラップを閉じている時間があります。
- ひかえめ自動運転停止後も、運転モードがドライ、冷房のときは、自動内部クリーン運転を行います。
- 切タイマーで停止したときは、自動内部クリーン運転は行いません。

5 タイマー運転について

- 入タイマーを予約すると、その時間にリモコンの設定温度となるように、最長約1時間前から運転を始めます。(おはよう予約)

(前日夜10時に、入タイマー9時間後設定)

- 一度入タイマーを予約すると、予約された時間は次回も記憶されています。

組合せ予約について

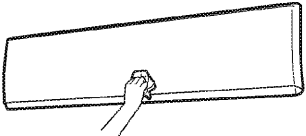
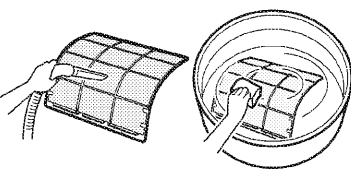
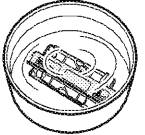
- 切タイマーと入タイマーを組み合わせて予約ができます。下記の例を参考にしてください。

(例)

- 運転中のエアコンを引き続き1時間運転。それから7時間停止させた後、運転を再開させたいとき。

- 2時間後に運転を開始し、その3時間後に運転を停止させたいとき。

お願い

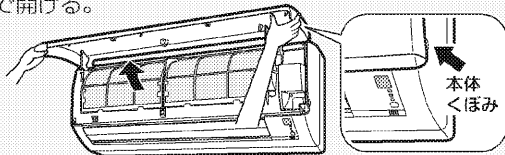
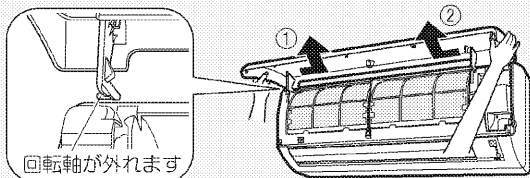
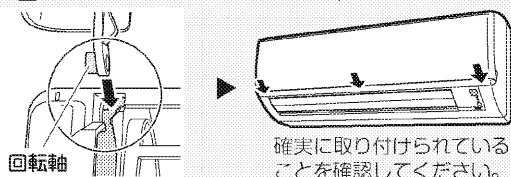
- 次のような場合には、再設定をしてください。(設定した時間がリセットされます。)
  - 電源プラグをコンセントから抜いたとき
  - ブレーカーを切ったとき
  - ブレーカーが作動したとき
  - 停電したとき
  - リモコンの電池を交換したとき

お手入れのしかた

⚠注意
お手入れの前には必ず運転を停止し、電源プラグを抜くかブレーカーを切る。

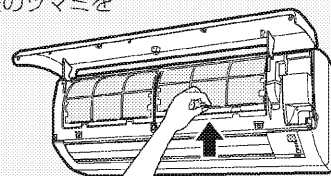
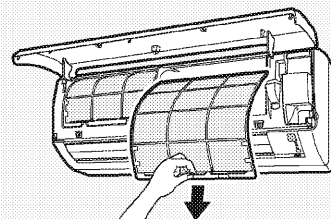
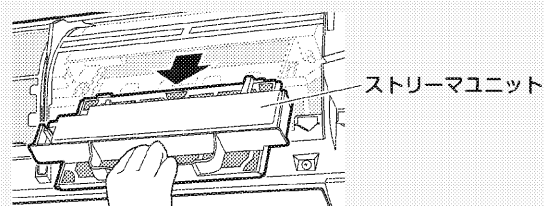
お手入れ早見表

前面パネル	エアフィルター	ストリーマユニット
■ 汚れが気になるとき ふき取り ●水または液体中性洗剤を含ませたやわらかい布で軽くふく。	■ 約２週間に１度 掃除機 または 水洗い ●掃除機でホコリを吸い取る。 ●汚れがひどいときは、液体中性洗剤を溶かしたぬるま湯で洗う。 ●水洗い後は、軽く水切りして、日陰でよく乾かす。	■ タイマーランプが点滅するとき、またはシーズンに１度 つけおき ふき取り タイマーランプ点滅 ●つけおきの前に必ず光触媒集塵・脱臭フィルターを取り外す。（下記参照） ①ぬるま湯または水につけおきする。（約１時間） ②分解し、綿棒またはやわらかい布で汚れを落とす。（下記参照） ③流水ですすぎ、水気を切る。 ④風通しのよい日陰で乾燥する。（約１日）

前面パネルの取外し・取付け

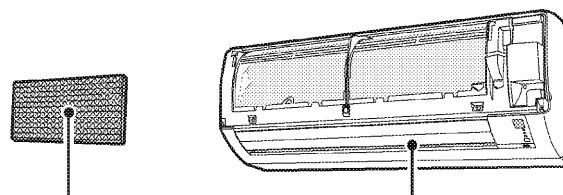
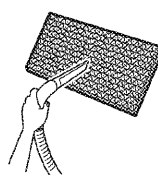
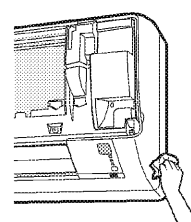
1 前面パネルを開ける。
●本体くぼみ（左右２ヵ所）に指をかけ、パネルが止まる位置まで開ける。

2 前面パネルを外す。
①前面パネルを右にスライドさせ、手前に引く。
②前面パネルを左手前に引き外す。

3 前面パネルを取り付ける。
●前面パネルの左右の回転軸を溝に合わせ、奥まで押し込む。
●そのままゆっくりと閉じる。
（前面パネルの両端と中央部を押す。）

エアフィルター／ストリーマユニット／

1 前面パネルを開ける。

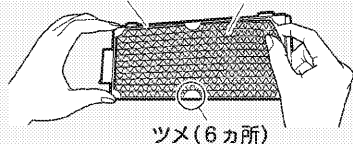
2 エアフィルターを引き出す。
●エアフィルターの中央のツマミを少し上へ押し上げる。

●下方向に引き出す。

3 ストリーマユニットを引き出す。
●ハンドルの中央を持って下へ引き出す。

⚠ 注意

- 室内ユニットの金属部に手を触れない。（けがの原因）
- 次のものは使用しない。（変形や変色、傷の原因）
  - 40℃以上のお湯
  - ベンジン・ガソリン・シンナーなどの揮発性のもの
  - みがき粉
  - タワシなどの硬いもの

お知らせ

- エアフィルターと光触媒集塵・脱臭フィルターを汚れたまま使用すると、空気清浄、脱臭、冷房・暖房能力が低下し電気のムダ使いになります。

	光触媒集塵・脱臭フィルター	室内ユニット
●1800時間以上運転するとタイマーランプが点滅します。（ストリーマおそうじサイン） ●タイマーランプ点滅中はストリーマ放電できません。 **●お手入れ後は、電源を入れて運転しない状態で、リモコンの「サインリセット」ボタンを押す。** ▶8ページ **お願い** ●汚れがひどいときは、液体中性洗剤を溶かしたぬるま湯または水につけおきしてください。 ●液体中性洗剤は洗剤の注意書きに記載された方法で使用し、使用後は洗剤が残らないように十分に水洗いしてください。 ●粉末洗剤やアルカリ性・酸性洗剤を使用したり、硬いタワシなどでこすらないでください。（変形、破損、金属部のサビの原因） ●布などのせんいクズが残らないようにしてください。（誤作動の原因）	**■タイマーランプが点滅するとき** **掃除機** ●掃除機でホコリを吸い取る。 **水洗いすると使用できなくなります。**	**■汚れが気になるとき** **ふき取り** ●やわらかい布でからぶきする。

光触媒集塵・脱臭フィルターの取外し・取付け

4 ストリーマユニットの裏側にある光触媒集塵・脱臭フィルターを外す。

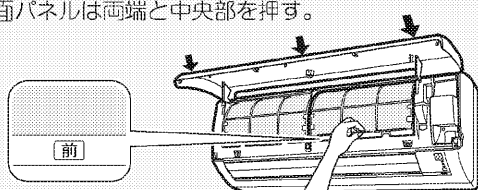
●ストリーマユニットを持ち、ツメ６ヵ所を外す。

●お手入れ後は、光触媒集塵・脱臭フィルターをストリーマユニットの裏側にもとどおり取り付ける。

●光触媒集塵・脱臭フィルターは上下表裏の区別はありません。

5 ストリーマユニットとエアフィルターを取り付け、前面パネルを閉じる。

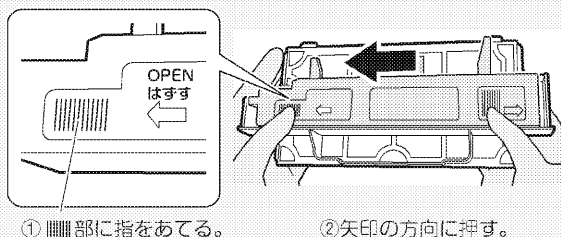
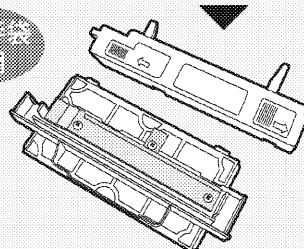
●ストリーマユニットは「カチッ」と音がするまで差し込んで取り付ける。

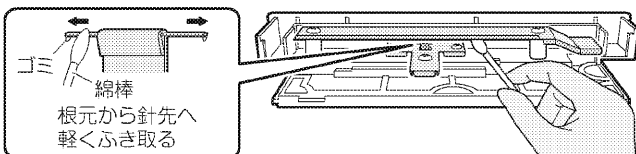
●エアフィルターは左右の区別はありません。

●前面パネルは両端と中央部を押す。

エアフィルター取付け時の注意

「前」の表示を手前にして、本体のツメ（下２ヵ所）に必ず差し込んでください。

ストリーマユニットの分解と組立て

分解

① ▥部に指をあてる。　②矢印の方向に押す。

お手入れ後は、外すときと逆の手順で組み立てます。

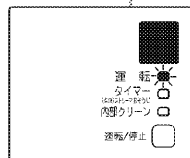
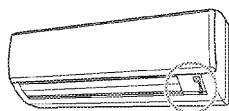
針をお手入れするときの注意

●針にゴミが付着している場合は、分解し綿棒などのやわらかいものに水や液体中性洗剤をしみ込ませて軽くふき取ってください。

●ゴミをふき取る際は、針が変形しないように注意してください。

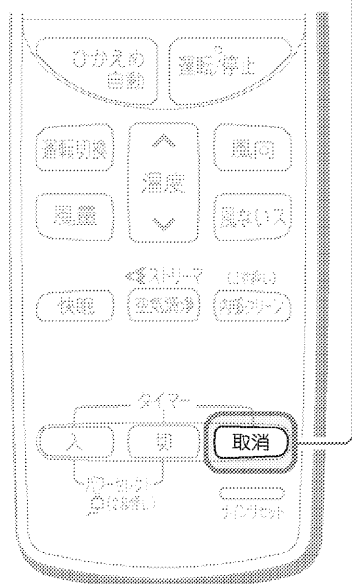
●針が変形すると脱臭能力が低下します。

●綿棒またはやわらかい布で、金属部の汚れを落としてください。

●ネジは外さないでください。

運転ランプが点滅するとき

運転ランプが点滅するときは、電源プラグを抜くか、ブレーカーを切り、約1分後、もう一度電源を入れて運転してください。

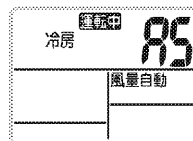
それでも運転ランプが点滅するときは、以下の手順にしたがってエラーコードを確認し、対応を行ってください。

タイマーランプ(橙色)が点滅するとき ▶12, 13ページ

エラーコードを確認する

1 **リモコンを室内ユニットに向けて(取消)を約5秒間押す。**

●リモコン表示部に「00」が表示されます。

2 **リモコンを室内ユニットに向けたまま(取消)を連続で押して「ピー」と鳴ったときのエラーコードを確認し、表の操作と対応を行ってください。**

●該当するエラーコードの左1ケタが一致したとき、「ピピッ」と鳴ります。
●(取消)を約5秒間押すか、しばらくすると通常表示に戻ります。

(表示例：A5)

エラーコードと確認内容	操作と対応
A5 エアフィルターが汚れていませんか？	運転を停止し、エアフィルターを掃除してください。 ▶12, 13ページ その後、電源プラグを抜くか、ブレーカーを切り、もう一度電源を入れて運転してください。
AH ストリーマユニットが正しく取り付けられていますか？	電源プラグを抜くか、ブレーカーを切ってからストリーマユニットを奥まで差し込んで確実に取り付け、もう一度電源を入れてストリーマ空気清浄運転をしてください。 ▶12, 13ページ
E7 室外ユニットに異物が入っていませんか？	電源プラグを抜くか、ブレーカーを切ってから、異物を取り除き、もう一度電源を入れて運転してください。
F3, F6, L3, L4, L5 車などで室外ユニットの吹出口をふさいでいませんか？	電源プラグを抜くか、ブレーカーを切ってから、障害物を取り除き、もう一度電源を入れて運転してください。
その他のエラーコード、またはエラーコードが確認できなかった場合	—